

『アフターコロナ社会における社会福祉のあり方に関する提言論文の募集』

COVID19 の経験は現在もそしてこれからも社会生活全般に大きな影響を与えることになると予想されます。今後の社会福祉サービスの提供の仕方を根本的に変える可能性がありますし、さらには社会福祉の基本的考え方、研究方法、そして政策を転換する必要も出てくるものと思われます。社会福祉におけるニューノーマルとはどのようなものか不透明なままです。

そこで、JASM ではアフターコロナの社会福祉のあり方を考えるための提言論文を募集することとしました。これから社会福祉に期待される役割を実践者の立場、そして研究者の立場から提言をいただきたいと考えています。

なお、社会福祉を専門とする実践者や研究者だけでなく、職業分野、研究分野を問わず広く「社会福祉」に関心を持つ方の投稿をお待ちしております。深めるべき研究分野、方法論、政策提言などさまざまな視点からの論文をお待ちしております。

応募期限：2020年12月31日

掲載予定：2021年6月発行予定の学会誌

表彰：最優秀論文（賞状）、副賞10万円

優秀論文（賞状）、副賞5万円

奨励賞（賞状）、副賞3万円（各1名）

投稿ルールについては、「学会誌」(<https://jasm.info/journal/>)の「投稿規程」等をご熟読のうえご応募ください。たくさんのご投稿をお待ちしております。

※今後の研究の場としてJASMに入会することをお勧めします

JASM